

## 10 視力障害を有する患者への指導

—視力障害患者用カセットテープを用いて—

長野市民病院 透析室 秋山美保、今井和子、石田尚美、中込みゆき

坂野武司、橋本和美、清水健一、宮下美和、床尾万寿雄(内科)

### 【はじめに】

当院の透析患者は29名で、糖尿病性腎症7名のうち視力障害を有する患者は4名である。

その4名に対しても、患者指導においてパンフレットやビデオを使用してきたが、「見えにくい」「何が書いてあるのか分からない」という声が聞かれた。そこで患者指導のあり方を再検討していたところ、新生会第一病院において視覚的にイメージ出来るよう考案・作成されたカセットテープの存在を知り購入出来たので、これを用いての指導を試みた。

### 【目的】

カセットテープ使用前後の透析についての理解度を知る。

(用語の定義)

カセットテープ…食事と透析の働きについて3巻の内容を60分テープに収録したものとする。

### 【対象】

視力障害を有する透析患者4名

A氏	男性	41歳	透析歴	3ヶ月
B氏	男性	73歳	透析歴	2年1ヶ月
C氏	男性	70歳	透析歴	1年9ヶ月
D氏	男性	51歳	透析歴	1年

### 【期間】

平成13年11月5日から平成14年1月5日

### 【方法】

- ・食事と透析の働きについて述べている3巻を60分のカセットテープに収録した。
- ・カセットテープの内容に沿ったチェックリストを作成した。
- ・透析中に1回/週程度の割合で3回カセットテープを聞いてもらう。
- ・チェックリストを用い、カセットテープ使用前後でどの程度理解されたかを評価する。
- ・患者の正答は8割以上、6割以上、3割以上で評価した。
- ・同一看護師による面接方式で行った。

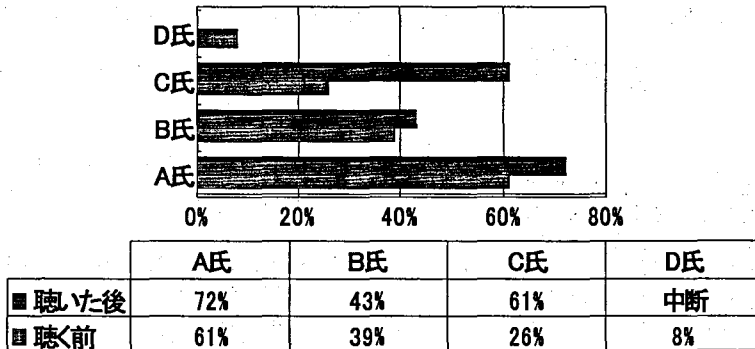
### チェックリストの項目

- ・透析の働き
- ・透析液とは
- ・十分な透析を行う為必要な事とは
- ・透析食とは
- ・糖尿病食とは
- ・バランスの良い食事とは
- ・糖質の多い食品とは
- ・蛋白質の多い食品とは
- ・脂質の多い食品とは
- ・ビタミン・ミネラルの多い食品とは
- ・水分制限の必要性
- ・水分が体に貯留した症状
- ・適正体重時の身体状況
- ・適正体重を知っているか
- ・inとして考えられるもの
- ・outとして考えられるもの
- ・経口水分量を減少させる工夫
- ・水分の多い食品
- ・塩分制限の必要性
- ・塩分が体に貯留した時の症状
- ・塩分の多い調味料
- ・カリウムが体に貯留した時の症状
- ・カリウムの多い食品
- ・カリウムを減らす調理方法

### 【結果】

- ・カセットテープを聞く前の正答率はそれぞれA氏は61%、B氏は39%、C氏は26%、D氏は8%であった。
- ・カセットテープを聞いた後の正答率はそれぞれA氏は72%、B氏は43%、C氏は61%であった。D氏は中断した為、結果は出なかった。
- ・患者からは「聞き取りやすく分かりやすい内容だった」、「とても為になった」、「これからも勉強します」、「録音して家族と一緒に聞きたい」という感想があった。

## カセットテープ使用前後6割以上の 正答率



### 【考察】

患者に3回カセットテープを聞いてもらったことで、チェックリストの正答率は高くなった。これは、患者の理解の向上につながったと言える。しかし、対象が4人でもあり、また、同一看護師による主観的な受け止め方もあった。

春木は「医療者の援助態度の類型として、励まし型・説得型・調査型・指示型・理解型があり、言うまでもなく患者にとっては、理解型が最も望ましい。」と述べている。D氏については「俺が聞きたいときに聞かせてくれ」という意見もあった。患者に対して一方的な押し付けをせず、患者の気持ちに添った指導が必要である。

「家族と一緒に聞きたい」との声が聞かれた。カセットテープは家庭に持ち帰って自己学習することも出来るため、家族指導にも有効である。自己学習、家族指導に向けたケアは、透析に関する新しい知識や情報を提供しながら、患者や家族が今何を心配し、何を求めているのか、今何が出来て何が出来ないのか、家族が今何をどこまで援助出来るのかを患者や家族と共に明確にしなが、進めていくことが必要である。

ナンシーは「聴覚教材は、基本的情報の提供、補足的指導、ステップに従った段階的ガイドなどに使用できる。」と述べているように、カセットテープのみに頼らず、患者との会話も大切にしながら患者の理解度を確認しながら指導していくべきである。

### 【まとめ】

- ・カセットテープを聞いた後のほうが正答率は高く、カセットテープによる患者指導は有効である。
- ・家族指導にも有効である。

### 【引用・参考文献】

- 1) 井 久子 他：糖尿病透析患者を意欲的に動機づけるには、透析ケア 12. 44-50. 2001
- 2) ナンシーI. ホイットマン 他：ナースのための患者教育と健康教育. 1996
- 3) 坂本洋子：透析患者全般の心理ケア. 臨床看護 11. 1814-1819. 2000
- 4) 林 優子 他：透析導入患者のケア. 臨床看護 3. 393-397. 2001
- 5) 西谷佐智子 他：ベテランナースから学ぶ自己管理指導 10. 16-26. 2001

資料1

- Q 透析の働き  
□ □ □
- Q 透析液とは  
□ □ □
- Q 十分な透析を行う為必要なこと  
□ □ □
- Q 透析食とは  
□ □ □
- Q 糖尿病食とは  
□ □ □
- Q バランスの良い食事とは  
□ □ □
- Q 糖質の多い食品とは  
□ □ □
- Q たんぱく質の多い食品とは  
□ □ □
- Q 脂質の多い食品とは  
□ □ □
- Q ビタミン・ミネラルの多い食品  
□ □ □
- A 水分や塩分、カリウムを取り除く
- A 原液：水=1：34、ダイライザーの膜を仲介して血液と透析液が接触して、陰圧をかけ毒素や塩分を取り除く
- A 適当なダイライザー 血流量 透析液量 透析時間
- 第1巻 B面より
- A 各栄養素をバランスよく摂る 適切な熱量を摂る 良質のたんぱく質を必要量摂る 塩分は8g以下に控える 水分は控える カリウムを摂り過ぎない
- A 熱量は控える
- A 糖質・たんぱく質・脂質・ビタミン・ミネラルをバランス良く摂る
- A ごはん・パン・うどん・いも・かぼちゃ
- A 卵・牛乳・大豆・魚・肉
- A 油・バター・マヨネーズ・ドレッシング
- A 野菜・海藻

資料2

- Q 水分制限の必要性  
□ □ □
- Q 水分が体に貯留した時の症状  
□ □ □
- Q 適正体重時の身体状況  
□ □ □
- Q 適正体重を知っているか  
□ □ □
- Q INとして考えられるもの  
□ □ □
- Q OUTとして考えられるもの  
□ □ □
- Q 経口水分量を減少させる工夫  
□ □ □
- Q 水分の多い食品  
□ □ □
- Q 塩分制限の必要性  
□ □ □
- Q 塩分が体に貯留した時の症状  
□ □ □
- Q 塩分の多い調味料  
□ □ □
- Q カリウムが体に貯留した時の症状  
□ □ □
- Q カリウムの多い食品  
□ □ □
- Q カリウムを減らす調理方法  
□ □ □
- A 尿が出ないので水分が体に貯まってしまう為
- A 体重増加 むくみ 血圧上昇 胸水貯留による呼吸苦 増悪時心不全 心胸比拡大 血管に水貯留
- A 余分な水分が貯留して不調良好な状態
- A 食事の7割が水分(味噌汁・種類多い) 飲水全般
- A 尿・汗・呼吸・便
- A 使用コップを小さくする 熱いお茶を飲む 薬は食事の時の水分で飲む 主食をパンにする 揚げ物ならOK 運動 入浴
- A プリン・ヨーグルト・アイス・味噌汁・類類
- 資料3
- A 尿が出ないので塩分を排出できない
- A 口渇 体重増加 むくみ 血圧上昇
- A 醤油 ソース ケチャップ マヨネーズ
- A 手足・口唇のしびれ 意識消失 心停止 口唇のこぼれり
- A スイカ メロン アボガド パナナ イモ 豆 干し柿 干しいたけ
- A 野菜は茹でる 缶詰のシロップは飲まない